TOTO

東陶機器株式会社

ウォッシュアップエコ
食器洗い乾燥機
EUD310HS（ホースすっきりタイプ）
EUD310HM（ミドルトールタイプ置換用）

TOTO

取扱説明書

ご使用前に
食器のセット
つかいかた
お手入れなど
故障かな？と思ったら
アフターサービス

■ このたびは「TOTOウォッシュアップエコ」をお求めいただきまして、まことにありがとうございました。この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

■ 取扱説明書・施工説明書は大切に保存し、いつでも再読できるようにしておいてください。

商品のお問合せはTOTOお客様相談室へ
0120-03-1010
受付時間：平日　9:00～18:00
土・日・祝日 10:00～18:00
（夏期休暇・年末年始を除く）
TOTOホームページ　http://www.toto.co.jp/

補修部品のご購入はTOTOパーツセンターへ
0120-8282-55
受付時間：平日　9:00～18:00
土・日・祝日 10:00～18:00
（夏期休暇・年末年始を除く）

修理についてのご用命は東陶メンテナンス㈱へ
0120-1010-05
受付時間：関東・甲信越地区 8：00～20：00
：上記以外の地区 9：00～20：00
訪問修理：（年中無休）
営業時間：　9：00～18：00

商品に関するご相談や修理については、下記のお取付工事店・販売店へ

本　　社　〒802-8601 北九州市小倉北区中島2-1-1 ……(093)951-2111

2002.02
F06209

お客様へ

このたびは「TOTO ウォッシュアップエコ」をお買い上げくださいまして、まことにありがとうございました。
この商品では、『エコロジー』&『エコノミー』にこだわったいろいろな機能を提供させていただきます。
また、毎日使っていただくものですので、特に『使いやすさ』『清潔』にもこだわりました。
ぜひ、お客様のキッチンお片づけのパートナーとして、末永くご愛用くださいますよう、よろしくお願いします。
これからもTOTO商品をご愛顧のほどよろしくお願いします。

TOTO

特徴1 かる～くゆすげば洗剤いらず！
「洗剤なし」コースが選べます P.17

食器洗い乾燥機をお使いの約9割※の方が食器をつけ置きしたり、予洗いをしてから洗っていますので、とてもうれしい便利なコースです ※TOTO調べ

特徴2 好評！スピーディ「8分」コース
「標準」コースもわずか約15分！ P.17

手洗いよりも経済的！　給湯接続でさらにおトク。

特徴3 食器が少ないときは、水も洗剤も
減らして賢く節約！「下かご洗浄」 P.13

・上下2つ”のかごで余裕の40点（6人分）
・食器が少ないときは、下かごだけで18点（3人分）

特徴4 食器の形に応じて、棚を動かせるので
どんぶりも入れ易い「下かご」新設計！ P.11

今まで入れにくかったどんぶりや深鉢などの食器もらくらくセットできます。

もくじ

ご使用前に
安全のために必ずお守りください …… 4
初めてお使いになる前に －お守りください－ …… 7
洗い・乾燥してはいけないもの …… 7
こんな汚れは落ちません …… 7
各部のなまえ …… 8
操作パネルのなまえとはたらき …… 9

さあ使いはじめましょう …… 10

食器のセット
食器を入れる －食器を入れる前に－ …… 11
食器を入れる －標準的な食器の入れかた－ …… 12
・「上下かご洗浄」の場合 …… 12
・「下かご洗浄」の場合 …… 13
いろいろな食器の入れかた …… 14

つかいかた
運転する …… 17
・洗浄コースについて …… 17
・専用洗剤を入れ、ドアを閉める …… 18
・コースを選びスタートする …… 19
・最終すすぎから始める …… 21
・運転を開始したあとで …… 22
後かたづけ …… 23
運転時間とコスト …… 24

お手入れなど
お手入れ －月に1度はお手入れを－ …… 26
本体の設置（EUD310HSのみ） …… 27
水抜きについて（EUD310HSのみ） …… 31

故障かな？と思ったら
凍結・断水・停電・ブレーカー作動の場合 …… 31
仕上がりが悪いと思われる場合 …… 32
運転しないとき …… 32
こんなときは故障ではありません …… 33
・配管滞留水の排水について …… 33
・乾燥仕上げ剤のご使用について …… 33
異常報知について …… 34

アフターサービス
アフターサービスについて・お願い …… 35
仕様・オプション －お求めの販売店にて取扱っています－ …… 35

■ 給水接続でお使いになる場合は、配管滞留水の排水をなくすように設定してください。
P.33「配管滞留水の排水をなくすには」

安全のために必ずお守りください

絵表示について…

お使いいただくお客様や他の人への危害や財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを次のように説明しています。
表示内容を無視して誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

⚠ 警告　この表示は、死亡又は重傷などを負う可能性が想定される内容です。

⚠ 注意　この表示は、傷害を負う可能性及び物的損害の発生が想定される内容です。

絵表示の例…

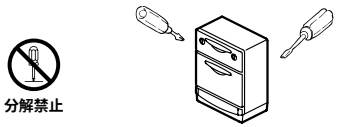
分解禁止

⃠記号は、絶対に行ってはいけない「禁止」の内容です。

❗記号は、指示にしたがい行っていただく「強制」の内容です。

⚠ 警告

絶対に分解・修理・改造は行わないでください。


分解禁止

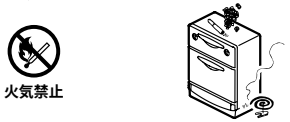
異常動作をしてケガをしたり、発火や感電など思わぬ事故の原因になります。

運転中は、本体に衝撃を与えないでください。

衝撃禁止

感電や漏電・ショートによる火災のおそれがあります。

火のついたローソク、蚊取り線香、タバコなどの火気や揮発性の引火物を近づけないでください。


火気禁止

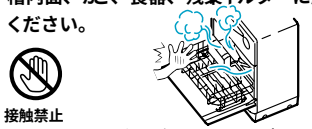
変形や火災のおそれがあります。

水につけたり、水をかけたりしないでください。

水場禁止

ショート・感電のおそれがあります。

運転中又は、運転終了後10分間は絶対に洗浄槽内面、カビ、食器、残菜フィルターに触れないでください。


接触禁止

やけどをするおそれがあります

お手入れのときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源プラグを抜く

感電やケガをするおそれがあります。

⚠ 警告

電源プラグの刃及び刃の取付面にほこりが付着している場合は、乾いた布などでよく拭いてください。また、定期的に清掃を行ってください。

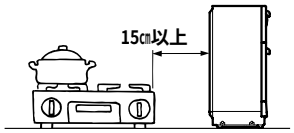
ほこりにより絶縁不良となり、火災のおそれがあります。

電源プラグをぬれた手で抜き差ししないでください。

ぬれ手禁止

感電するおそれがあります。

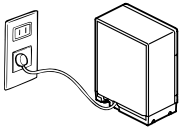
設置場所はガスコンロなど熱源から15㎝以上離してください。



距離の確保

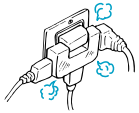
火災や変形のおそれがあります。

アースを確実に取付けてください。
※アース工事は必ず電気工事店に依頼してください。(有料)


アース線接続

故障や漏電のときに感電するおそれがあります。

定格15A以上のコンセント（専用）を単独で使用してください。※タコ足配線は絶対にしないでください。


専用電源

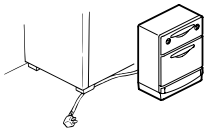
他の器具と併用すると、分岐コンセント部が異常発熱して発火するおそれがあります。

電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり、引張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。

禁止

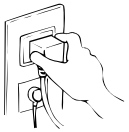
電源コードが破損し、火災・感電のおそれがあります。

電源コードの上に重い物を載せたり、はさみ込んだりしないでください。


禁止

電源コードが破損し火災・感電の原因になります。

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに、必ず電源プラグを持って抜いてください。



感電やショートして発火するおそれがあります。

コンセントの差込みがゆるいときや、電源コードや電源プラグが傷んでいるときは使用しないでください。

禁止

感電・ショート・発火のおそれがあります。
※電気工事店に点検修理を依頼してください。

煙が出ている、変なにおいがするなどの異常がある場合は、事故防止のためすぐに電源プラグを抜き、止水栓を閉じてください。

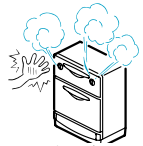
電源プラグを抜く

感電や漏電・ショートなどによる火災のおそれがあります。

安全のために必ずお守りください（つづき）

⚠注意

運転中、排気口付近には近づかないでください。
また、洗浄直後ドアを開けるときには顔などを近づけないでください。



禁止

湯気、温風によりやけどをするおそれがあります。

開いたドア、上ノズル部、本体を強く押さないでください。
（EUD310HSの場合、本体が傾くことがあります。）

禁止

転倒、破損や思わぬケガの原因となります。
また、本体の傾きによる食器の破損や漏水のおそれがあります。

本体の上にものを置かないようにしてください。

禁止

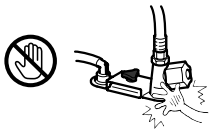
落下による思わぬケガの原因となります。

使用中、使用後、他の水栓（湯）からも高温の湯が出ることがありますので、注意してください。

禁止

給湯機が高温設定になっている場合、やけどをするおそれがあります。

お湯を使用中、又は使用後すぐに給湯金具本体に触れないでください。



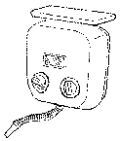
やけどをするおそれがあります。

子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところでは使わないでください。

禁止

やけど・ケガをするおそれがあります。

元止め式湯沸器には接続しないでください。



禁止

本体に給湯されなかったり、湯沸器から水漏れするおそれがあります。

運転中にドアを開けるときは、必ず「スタート/一時停止」スイッチを押してください。

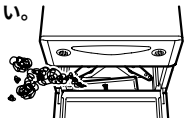
お湯が飛び出したり、高温の湯気が出てやけどをするおそれがあります。

洗浄水や排水には触れないよう注意してください。

禁止

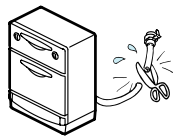
高温になっており、手を触れるとやけどをします。

残菜フィルターは正しく取付けてください。



かごから物が落下した際に発煙、発火のおそれがあります。
故障の原因になります。

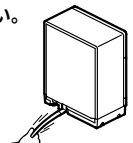
給湯ホースは切らないでください。



禁止

水漏れの原因になります。

排水ホースは無理に引張らないでください。



禁止

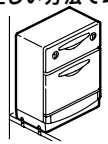
水漏れの原因になります。

長期間ご使用にならないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜き、給湯金具又は止水栓を閉じてください。

電源プラグを抜く

万一の場合に、思わぬ事故を防ぐことができます。

転倒防止金具はしっかりとした平らな面に正しい方法で取付けてください。



転倒防止

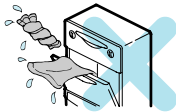
転倒した際、ケガややけどの原因となります。

初めてお使いになる前に—お守りください—

食器洗い乾燥機専用洗剤以外は使用しないでください。

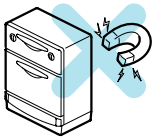
一般の台所用洗剤では、異常に泡が発生して正しく運転できません。
また、故障の原因になります。

食器洗い以外の目的には使わないでください。



故障の原因になったり、衛生上良くありません。

磁石を本体に近づけないでください。



警報音が鳴り、正常に動作しないことがあります。

温度設定ができない高温給湯タイプの給湯機（70°C以上）をご使用の場合は、別途ミキシングバルブ（品番 ： EUDH611,別売）をご利用いただくか、給水接続でご使用ください。

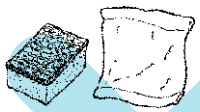
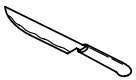
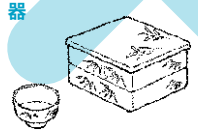
本体の変形、故障の原因になります。

交流100V以外では使用しないでください。

故障の原因になります。

洗い・乾燥してはいけないもの

※ひび割れ、変形、変色、本体故障などの原因になります。

プラスチック容器のふたなどの軽くて小さい食器、哺乳瓶の乳首など小さくて袋状のもの 水圧で飛ばされて下へ落ちる場合があります。	ふきん、スポンジなど  食器や調理器具以外は入れないでください。	耐熱90°C以下のプラスチック製のもの（耐熱表示のないものを含む） 変形します。	銀製・洋銀製食器など 金色にかわり、そのあと黒くなります。	
カットグラス、クリスタルグラス 白くにごったり、割れたりします。	鉄製の包丁など  錆びるおそれがあります。	漆塗り食器・重箱・金箔入りの食器 	アルミ製の鍋・食器 白くなり、そのあと灰色に変色します。	びん・徳利などの食器、ひびの入った食器 ■口の小さいものは中が洗えません。 ■ひびが入った食器は割れるおそれがあります。

こんな汚れは落ちません

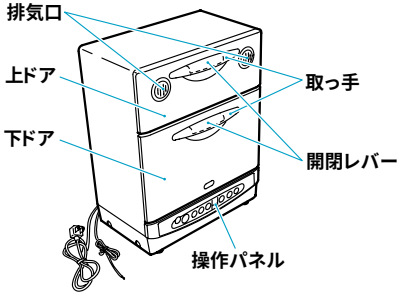
手洗いでも落としにくいこびりついた汚れは、そのまま入れてもきれいに洗えません。
こすり落としてから入れるか、手洗いですませてください。

例　●グラタンの焼きつき　●茶わんむしのこびりつき　●口紅の汚れ　●ナベのこげつき

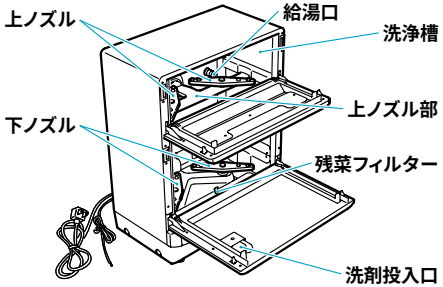
ご使用前に

各部のなまえ

本　体

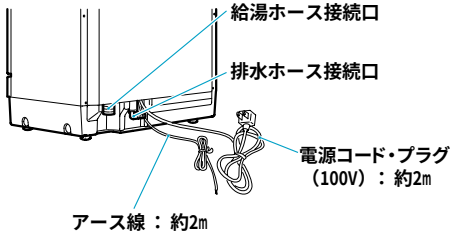


本体内部

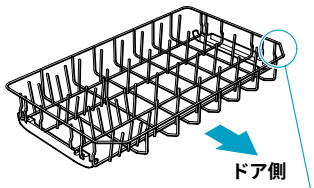


●操作パネル表面には、輸送時の傷防止用シートを張っています。
はがしてお使いください。

本体背面

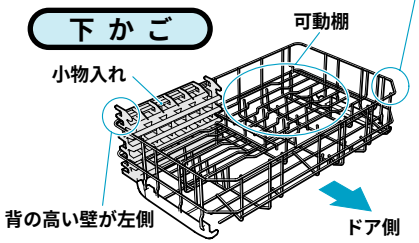


上かご



かどが斜めになっている方がドア側

下かご



付属品

■ 食器洗い乾燥機専用洗剤（100g）※
計量スプーン付

■ 施工説明書　1部

■ 保証書　1部
（梱包箱に張り付けています）

設置用部材

【設置用部材は、施工説明書に掲載しています。】

※付属の洗剤がなくなりましたら、百貨店・スーパー、家電店、通信販売などで市販の食器洗い乾燥機専用洗剤をお求めください。

操作パネルのなまえとはたらき

スタート/一時停止スイッチ

■運転をスタート及び一時停止するときに押します。
■一時停止後、再びスタートさせるときは、もう一度押します。

行程表示ランプ

■運転前は選んだコースの開始行程が点灯します。
■運転中は進行中の行程が点滅します。
一時停止中は点灯します。
■乾燥の残り時間3分で点滅周期が速くなります。

電源スイッチ

■電源を入れるときに押します。
運転が終了すると自動的に切れます。
■もう一度押すと切れます。
■「スタート/一時停止」スイッチを押さずに10分放置すると切れます。

●「入」のとき、ランプ点灯
○「切」のとき、ランプ消灯

高温念入りスイッチ

■約80℃の高温で「最終すすぎ」を行うときに押します。
■もう一度押すと切れます。

●「入」のとき、約80℃で最終すすぎ
○「切」のとき、60～70℃で最終すすぎ

洗浄コース選択スイッチ

■選びたい洗浄コースのスイッチを押します。
選んだコースのランプが点灯します。
行程表示ランプの「洗い」が点灯します。
■「最終すすぎ」から開始することができます。
P.21「最終すすぎから始める」

・「すすぎ」は給湯（給水）したお湯（水）ですすぎます。
・「最終すすぎ」はヒーターであたためたお湯ですすぎます。

乾燥のみスイッチ

■「乾燥のみ」で運転するときに押します。
■「乾燥のみ」のランプが点灯します。
行程表示ランプの「乾燥」が点灯します。

かご選択スイッチ

■スイッチを押すごとに洗浄するかごが切替わります。

「上下かご洗浄」　↔　「下かご洗浄」

※「乾燥のみ」の場合、かご選択は選べません。
※上かごだけの洗浄は選べません。
上かごにセットした食器だけを洗浄する場合は、上かごを下にセットして「下かご洗浄」で運転してください。
P.15「上下かごの使いわけ」

乾燥コース選択スイッチ

■スイッチを押すごとに乾燥コースが変わります。
選択した乾燥コースのランプが点灯します。
■乾燥のみの場合、送風は選べません。

洗浄の場合
「15分」 温風乾燥15分
↓
「30分」 温風乾燥30分
↓
「60分」 温風乾燥60分
↓
「送　風」 送風乾燥90分

乾燥のみの場合

・電源プラグを差し込んだ状態では、電源が切れていても電子回路を作動させるため、約2.5Wの電力を消費します。
・触れるだけでスイッチの位置がわかるように、電源スイッチ、スタート/一時停止スイッチ中央部には突起が付いています。

さあ使いはじめましょう

1 運転前の準備

■乾燥のみの場合「運転前の準備」は必要ありません。

●給湯接続の場合、給湯器の電源を入れる。

給湯温度を最適の60℃に設定していただくことをおすすめします。

- 給湯温度が高いと、汚れが落ちにくくなることがあります。
- 給湯温度が低いと、洗浄時間が長くなります。
- 運転開始後「最終すすぎ」ランプが点滅したら、給湯器の電源を切ってもかまいません。

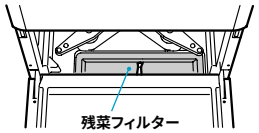
※給水接続の場合

P.33「配管滞留水の排水をなくすには」

●残菜フィルターがセットされているか確認する。

残菜フィルターを正しく取付けてください。

- 残菜が残菜フィルターの下に落ちると、故障の原因となります。



●食器の食べ残しや残菜などを取り除く。

魚の骨、つまようじ、輪ゴムなどの固形物は必ず取除いてください。

- 固形物が内部につまり、正常に動作しなくなることがあります。

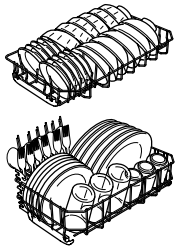
P.7「こんな汚れは落ちません」

※8分コース、洗剤なしコースをお使いになる場合

P.17「予洗いについて」

2 食器を入れる

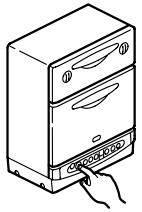
- 食器をかごにセットする。



P.11

3 運転する

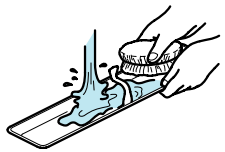
- 必要に応じて専用洗剤を洗剤投入口に入れる。
- ドアを確実に閉める。
- コースを選び、運転する。



P.17

4 後かたづけ

- 食器を取出す。
- 残菜を捨て残菜フィルターを水洗いする。
- 残菜フィルターを元どおりにセットする。



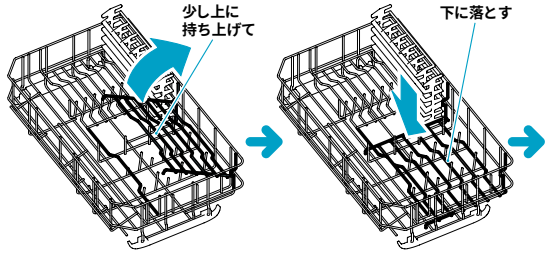
P.23

食器を入れる －食器を入れる前に－

◎ 下かご可動棚のつかいかた

下かごの一部が可動式の棚になっています。
食器の種類や形によってセットのしかたが変わりますので、食器が安定するように棚の位置をお選びください。

■ 可動棚の下げかた

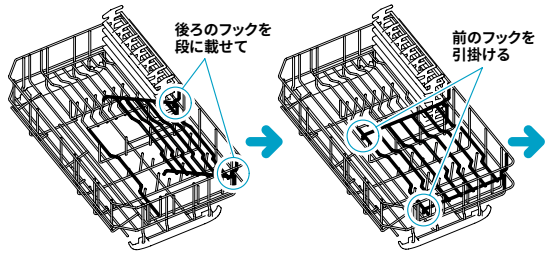


ピンを利用して食器をセットします。
例えば、こんな食器をセットできます。

- 背の高いグラス
- ラーメンどんぶり
- 麦茶のポット　など

P.14「いろいろな食器の入れかた」

■ 可動棚の上げかた



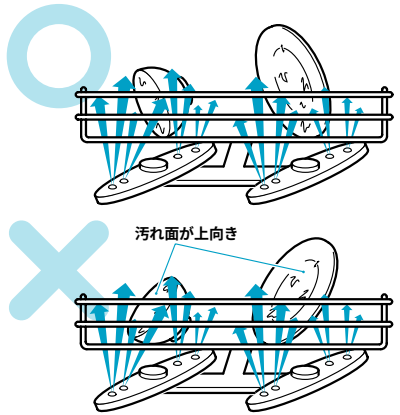
可動棚を利用して食器をセットします。
例えば、こんな食器をセットできます。

- ティーカップ
- 平たいお皿
- 角皿　など

P.14「いろいろな食器の入れかた」

◎ 食器の入れかたのポイント

洗浄ノズルから噴射された洗浄水が食器の汚れ面に効率よくあたるように、汚れ面を洗浄ノズルの方向に向けて、正しくセットしてください。



回転ノズル
回転しながら、上方に向かって洗浄水を噴射し、食器を洗浄します。

固定ノズル
上方から洗浄水を噴射し、小物入れの食器を洗浄します。

食器を入れる －標準的な食器の入れかた－

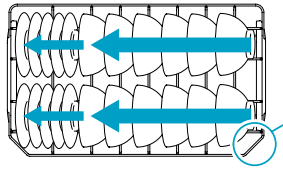
◎「上下かご洗浄」の場合

■ 下かごの可動棚を上げた状態で、6人分の標準的な食器をセットできます。

食器の内面を矢印方向 ➡ に合わせて倒し気味にセットしてください。
食器のセットの向きが違うと、洗い上がりが悪くなります。

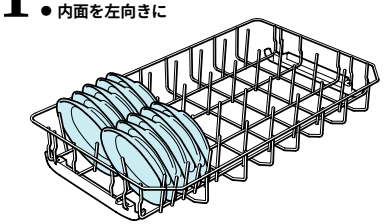
上かご

茶わん … 6点
吸物わん … 6点
小皿 … 10点

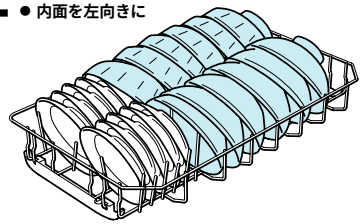


かどが斜めになっている方がドア側

1 小皿を入れる
● 内面を左向きに

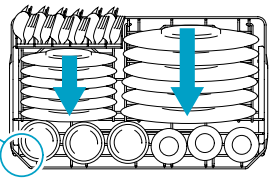


2 茶わん・吸物わんを入れる
● 内面を左向きに

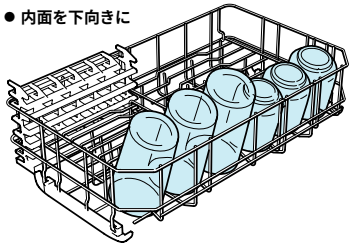


下かご

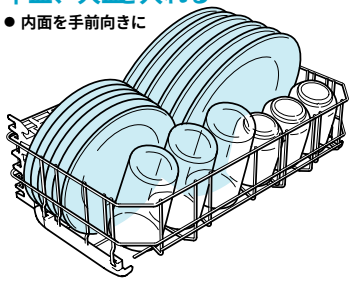
大皿 … 6点　スプーン
中皿 … 6点　フォーク
コップ・湯のみ … 6点　はし



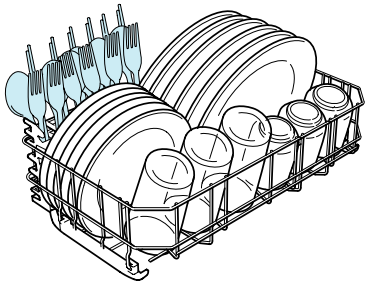
1 コップ・湯のみを入れる
● 内面を下向きに



2 中皿、大皿を入れる
● 内面を手前向きに



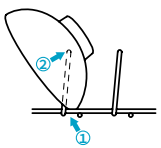
3 小物を入れる
● 汚れた方を上向きに



茶わん・吸物わんの入れかた

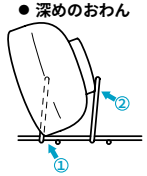
上かごのピンを利用して、内面が左下を向くようにセットしてください。

● 浅めのおわん



①おわんの縁をピンの根元に当てて
②内面をピンで支える

● 深めのおわん



①おわんの縁をピンの根元に当てて
②底面をピンで支える

◎「下かご洗浄」の場合

■ 下かごの可動棚を下げた状態で、3人分の標準的な食器をセットできます。

食器の内面を矢印方向 ➡ に合わせて倒し気味にセットしてください。
食器のセットの向きが違うと、洗い上がりが悪くなります。

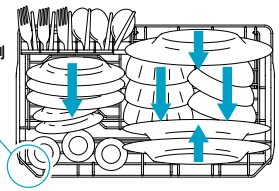
上かご

「下かご洗浄」の場合、上かごに食器をセットしないでください。

下かご

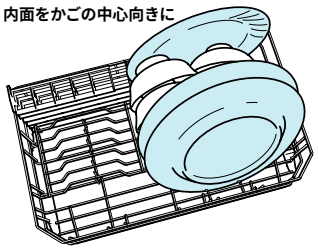
茶わん … 3点　大皿 … 3点　スプーン
吸物わん … 3点　中皿 … 3点　フォーク
コップ・湯のみ … 3点　小皿 … 3点　はし

かどが斜めになっている方がドア側

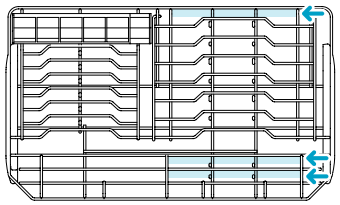


1 茶わん・吸物わんを入れる
● 内面を手前向きに
可動棚を下げた状態

2 大皿を入れる
● 内面をかごの中心向きに

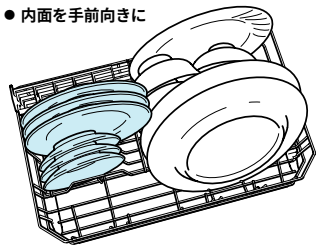


大皿を入れる位置

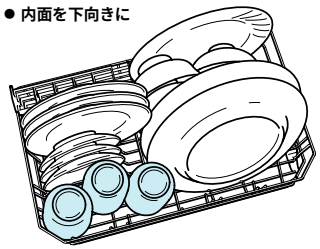


矢印の位置にセットしてください

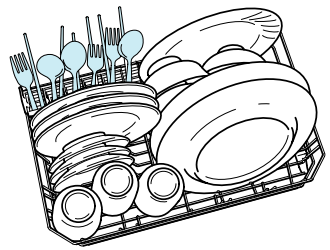
3 中皿・小皿を入れる
● 内面を手前向きに



4 コップ・湯のみを入れる
● 内面を下向きに



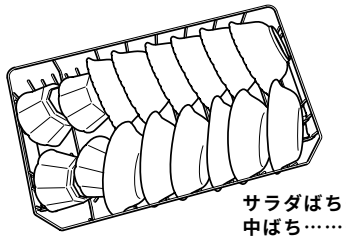
5 小物を入れる
● 汚れた方を上向きに



いろいろな食器の入れかた

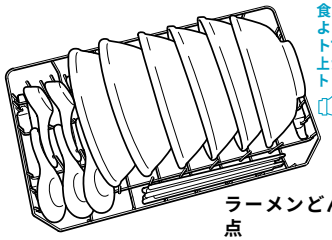
◎ いろいろな食器のセット例

上かご　小ばちなど



サラダばち…6点
中ばち……6点
小ばち……4点

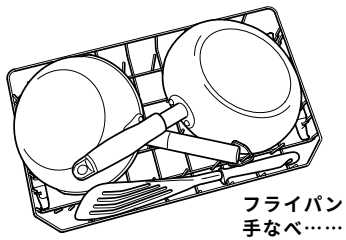
上かご　ラーメンどんぶり



食器の大きさによって上にセットできない場合は、上かごを下にセットしてください。
P.15

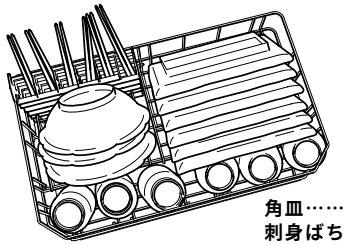
ラーメンどんぶり…6点
れんげ……6点

上かご　調理器具



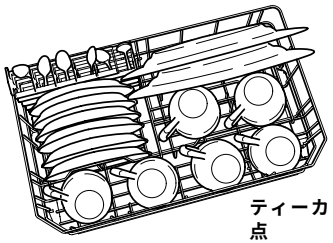
フライパン…1点
手なべ……1点
フライ返し…1点

下かご可動棚：上　和食器



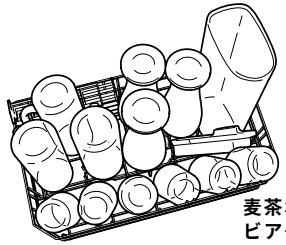
角皿……6点
刺身ばち……3点
湯のみ……6点

下かご可動棚：上　ティーカップ



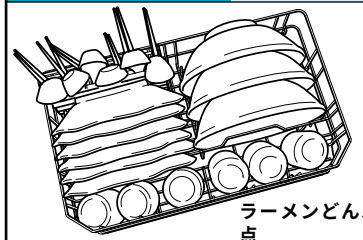
ティーカップ…6点
ソーサー……6点

下かご可動棚：下　背の高い食器



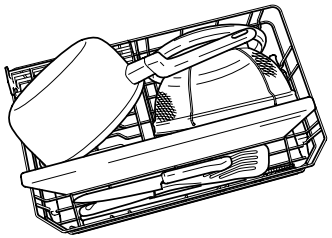
麦茶ポット…1点
ビアグラス…6点
グラス……6点

下かご可動棚：下　ラーメンどんぶり



ラーメンどんぶり…3点
八角皿……6点

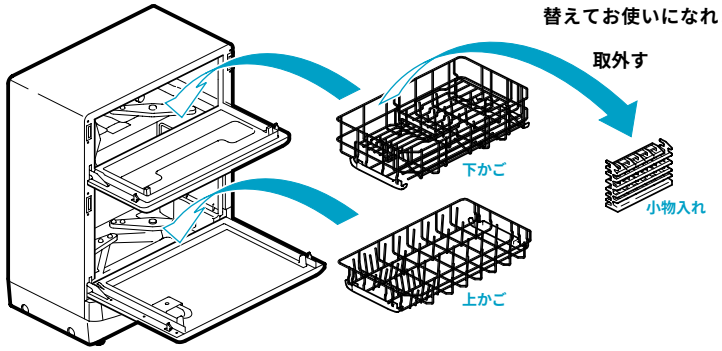
下かご可動棚：下　調理器具



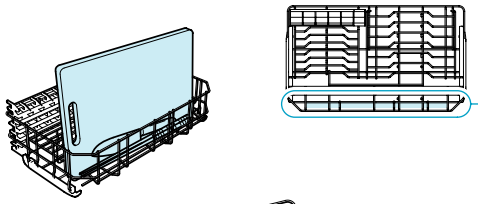
フライ返し
さいばし
まな板
ざる
なべ
包丁　など

◎ 上下かごの使い分け

● 小物入れを取外せば、上かごと下かごを入れ替えてお使いになれます。

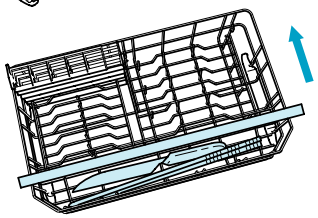


◎ さいばし・包丁・まな板などのセットのしかた



● さいばし・包丁などの長物は、下かご手前側の左図のスペースを利用してセットしてください。

※さいばし、はし箱などの細いものは、かごから落ちないように下かごの一番手前にセットしてく



● まな板は、汚れた面を後向きにして下かご手前側　の左図のくぼみにセットしてください。

大きさ

たて25㎝以下、横41㎝以下、厚み1.5㎝以下

材　質

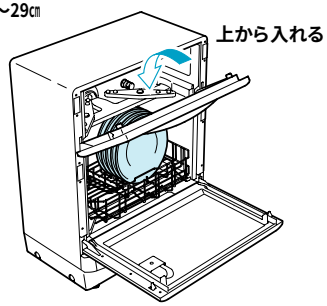
耐熱温度90℃以上のプラスチック製のもの

【お願い】鉄製の包丁や刃先が鋼のものは、錆びたり、錆びがかごにつくことがあるため入れないでください。
　　木製のまな板は、表面のキズに入り込んだ汚れが洗えない場合がありますので、プラスチック製のものを

いろいろな食器の入れかた

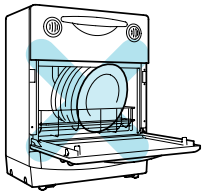
◎ 直径27㎝を越える大皿のセットのしかた

■ 直径27㎝～29㎝

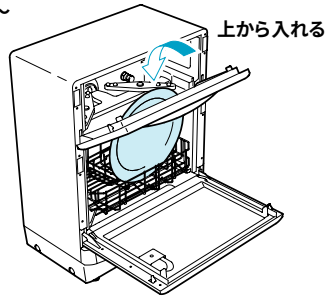


● 上かごを取り出して、下かごを入れた状態で、左図のように下かごにセットしてください。
※大皿を入れた状態で下かごを引き出さないように注意してください。

※上ドアを閉めたときに皿がはみ出さないように注意してください。



■ 直径29㎝～

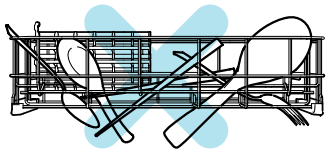


※直径29㎝を超える大皿は1枚しか入りません。

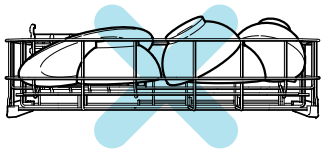
【お願い】直径29㎝を越える大皿をセットした場合、上ノズルが回転しなくなりますので上かごを入れずに「下かご洗浄」で運転してください。直径29㎝以下の大皿をセットした場合は、上かごも洗浄できます。

◎ 食器セットの悪い例

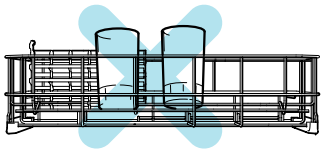
● かごの底から食器がはみ出さないように
（食器が回転ノズルにあたると洗えません）



● 食器が重ならないように
（重なっている部分は洗えません）



● コップ等の内面が上にならないように
（洗浄水が内面にあたりません）



● スプーン、はしなどを下向きに入れないように
（汚れが落ちにくくなります）

運転する

◎ 洗浄コースについて

ウォッシュアップエコ（2ドアスリム）では、基本の洗浄コースを3コースご用意しています。
食器の汚れ具合や使いかたに合せて、最適な洗浄コースをお選びください。
（「高温念入り」や「かご選択」と組合せてお使いいただけます。）

予洗いした食器や軽い汚れの食器を洗うとき

標準コース（標準）

高温のお湯と専用洗剤で食器を洗う、標準的な洗浄コースです。
ふつう汚れの食器を食後すぐに洗うときにお使いください。

洗剤なしコース（洗剤なし）

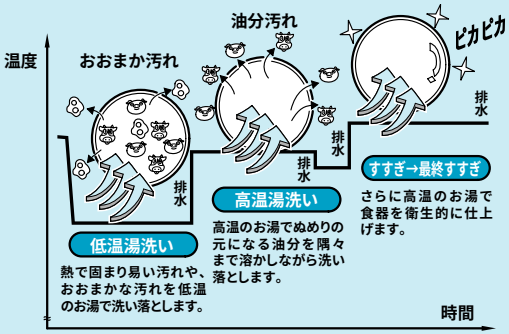
洗い行程を、低温湯洗いと高温湯洗いの2段階に分け、専用洗剤を使わず食器を洗うコースです。

こんなときにおすすめです。

- なるべく専用洗剤を使いたくないとき。
- 食器洗いのコストを安くしたいとき。
- 専用洗剤がなくなったとき。

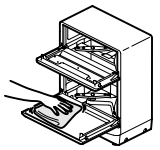
（高温念入り）と組合わせると、より衛生的です。
※洗浄時間は長くなります。

- 後でまとめ洗いするときに、あらかじめ汚れを軽く落としておくとき。



■こまめなお手入れを

「洗剤なしコース」を連続でお使いになる場合、専用洗剤を入れたときと比べて、洗浄槽内に水中のミネラル分などが残りやすくなります。洗剤を使うコースとの併用や、こまめに洗浄槽内のお手入れを行なってください。



「お手入れ」P.26

■予洗いについて

「8分コース」「洗剤なしコース」で軽い汚れ以外の食器を洗う場合は、次のような方法で必ず予洗いを行い、汚れのこびりつきなどを落としてから食器を入れてください。

【つけ置き】

【水洗い】

予洗いに台所用洗剤を使用しないでください
食器に残った台所用洗剤によって、泡が異常発生するおそれがあります。

8分コース（8分）

洗いから最終すすぎまでをわずか8分で行う高速洗浄コースです。

こんなときにおすすめです。

- 朝食時使用した軽い汚れ（パン食）や来客時のコップ等をすばやく洗うとき。
- つけ置き・水洗いなどの予洗いした食器を、仕上げとして洗うとき。

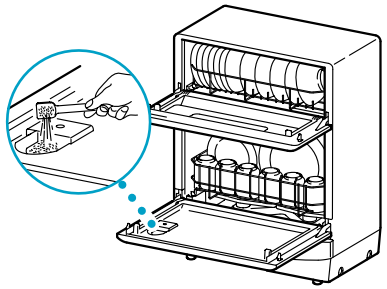
（高温念入り）と組合わせると、より衛生的です。
※洗浄時間は長くなります。

- 後でまとめ洗いするとき、あらかじめ汚れを軽く落としておくとき。

※ 温水ヒーターによる加熱を行いませんので、給湯機の設定温度を60℃にしてお使いいただくことをおすすめします。（高温念入り）と組合わせた場合は、温水ヒータ加熱を行います。
※ 給水接続の場合、食器の予洗いとしてお使いください。
※ 乾燥時間は温風60分をおすすめします。
※ 「下かご洗浄」選択時は、運転時間が約12分かかります。

1 専用洗剤を、洗剤投入口に入れる。

■「上下かご洗浄」のときは、
付属の計量スプーン1杯分（約4.5g）
■「下かご洗浄」のときは、
付属の計量スプーン約半分（約2.3g）
■油汚れの多い場合は、
洗剤を多めに入れてください。



洗剤なし　乾燥のみ
の場合は洗剤を入れる必要はありません。

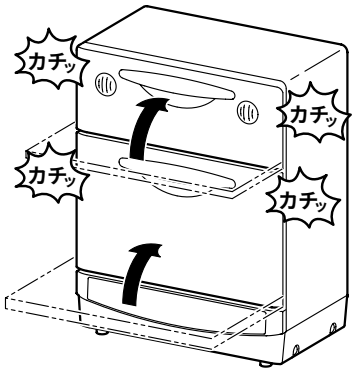
食器洗い乾燥機専用洗剤以外は使用しないでください。

一般の台所用洗剤では、異常に泡が発生して正しく運転できません。
また、故障の原因になります。

2 ドアを静かに閉める。

ドアを閉めるときは、取っ手の中央を軽く押し、ドア両端から「カチッ」と音がするのを確認してください。

ドアが確実に閉まっていない状態で
「スタート/一時停止」スイッチを押すと「ピピピ」という警報音がなります。
ドア両端が確実に閉まっているか確認



3 電源入/切 で電源を入れる。

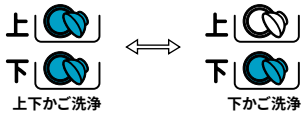
■ 電源ランプが点灯します。
■ 前回「上下かご洗浄」で選んだ洗浄コース、乾燥コースのランプが点灯します。
■ 行程表示ランプの「洗い」が点灯します。
■「かご選択」ランプが上下とも点灯します。

●前回と同じコースで運転する運転する場合は、スタート/一時停止 で運転を始める。 P.20

4 「下かご洗浄」を行う場合は かご選択 を押す。

●食器の量が少ないときにお使いください。
※上かごに食器を入れても洗えません。
※上かごだけの洗浄は選べません。

■ 押すごとに「かご選択」ランプが切替わります。



■ それぞれのかご選択で前回選んだ洗浄コース、乾燥コースのランプが点灯します。

5 8分 洗剤なし 標準 乾燥のみ から洗浄コースを選ぶ。

■ 選択したコースのランプが点灯します。
乾燥のみの場合 P.20「乾燥のみ運転時の排水について」

必要に応じて 高温念入り を押す。
■「高温念入り」ランプが点灯します。
●もう一度押すと切れます。

【高温念入り】選択時は、
■ 乾燥時の湯気が多くなります。
■ くり返し行うと、ガラス製食器がくもったり、プラスチック製食器が変形することがあります。
P.7「洗い・乾燥してはいけないもの」
■ 排水時に流し（シンク）が“ボコッ”と音を出すことがありますが、異常ではありません。

◎ 洗浄コースの決めかた

こんなとき		洗浄コース	汚れのめやす
軽い汚れの食器を予洗いした食器	短時間で洗う	8分コース 8分	軽い 少ない
	洗剤なしで洗う	洗剤なしコース 洗剤なし	
食後すぐに食器を洗う		標準コース 標準	ふつう
食後時間がたった食器を洗う		高温念入りコース 標準＋高温念入り	がんこ 多い
手洗いした食器を乾燥する 食器をあたためる		乾燥のみコース 乾燥のみ	な し

運転する（つづき）

6 乾燥選択 で乾燥コースを選ぶ。

■ 押すごとに乾燥時間が変わります。

温風 15分 30分 60分 送風

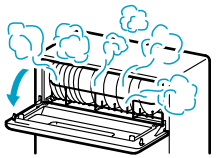
※洗浄コース別に、前回選んだ乾燥コースを記憶しています。

◎乾燥時間のめやす

乾燥コース	こんなとき
【温風15分】	「乾燥のみ」で食器を温める。
【温風30分】	「標準」「洗剤なし」コースで洗浄後ふつうに乾燥する。
【温風60分】	「8分」コースで洗浄した食器や手洗いした食器を乾燥する。
【送風】（余熱乾燥）	電気代を節約して乾燥する。

◎余熱乾燥もできます

- 洗浄後の食器の余熱を利用して自然乾燥させる方法です。電気代がかからず経済的です。
- 「送風」を選択すると、洗浄終了後にブザーがなりますので、上ドアを開けて電源を切り、そのまま放置してください。送風は停止します。



※8分コースの場合、食器の余熱が少ないためおすすめできません。
※下ドアを開けると、一気に熱が逃げるため乾き具合が悪くなります。

7 スタート 一時停止 で運転を始める。→ ブザーが鳴ったら運転終了です。

※運転開始直後や給湯後すぐに排水することがありますが、異常ではありません。
P.33「こんなときは故障ではありません」
※「下かご洗浄」を行うと、洗浄中に「ザッザッザッ」という音がしますが、異常ではありません。
※選んだコースにより、ブザーの鳴るタイミングが違います。P.22「運転終了の合図について」

◎乾燥のみ運転時の排水について

乾燥のみコースを通常お使いになる場合は、排水を行わない設定になっていますので、手洗いした食器の乾燥を続けて繰り返し行うと、食器の水滴が洗浄槽内に少しづつ溜まります。乾燥のみコースで手洗いした食器の乾燥を続けて繰り返し行う場合は、乾燥のみ運転開始時に、ときどき排水を行ってください。

■乾燥のみ運転開始時に排水を行うには

電源 入/切 で電源を入れ 乾燥 のみ を「ピッ」と音が鳴るまで（約3秒間）押しつづける。

→ 乾燥のみ運転開始時に排水（約45秒間）を行います。
（次回の乾燥のみ運転時は排水を行いません。）

⚠注意

（EUD310HSの場合）

運転中には本体を傾けないでください。

動作異常や漏水のおそれがあります。また、中の食器が割れるおそれがあります。

◎ 最終すすぎから始める

●手洗いした食器などを衛生的にすすぎたい場合、最終すすぎから運転を始めることができます。

高温 念入り と組合せるとより衛生的にすすげます。

手洗いした食器をセットする場合は、食器に付いた洗剤をよくすすいでから食器をセットしてください。
食器に残った洗剤が、泡の異常発生の原因になります。

1 専用洗剤を入れずにドアを確実に閉め、電源 入/切 で電源を入れる。

P.18「ドアの閉めかた」

2 「下かご洗浄」を行う場合は かご選択 を押す。

●食器の量が少ないときにお使いください。
※上かごに食器を入れても洗えません。
※上かごだけの洗浄は選べません。

■ 押すごとに「かご選択」ランプが切替わります。

上 下 上下かご洗浄 ⇔ 上 下 下かご洗浄

■ それぞれのかご選択で前回選んだ洗浄コース、乾燥コースのランプが点灯します。

3 8分 洗剤なし 標準 のどれかを3秒間押しつづける。

■ 3秒後に「ピッ」という音がして、行程表示ランプが「最終すすぎ」に切替わります。

洗い ▶ すすぎ ▶ 最終すすぎ ▶ 乾燥

3秒間押すと… ⇩ ⇧ もう一度、3秒間押すと

洗い ▶ すすぎ ▶ 最終すすぎ ▶ 乾燥

より衛生的にすすぐ場合は

高温 念入り を押す。 ■「高温念入り」ランプが点灯します。 ■もう一度押すと切れます。

P.19「高温念入り選択時は」

最終すすぎ時間のめやす（上下かご洗浄、給湯温度60℃のとき）

洗浄コース	最終すすぎ時間	高温念入り選択時
8分	約2分 ※	約15分
洗剤なし	約4分30秒	約16分30秒
標準	約5分	約15分30秒

※洗浄槽内の温水ヒーター加熱を行いません。

4 乾燥選択 で乾燥コースを選ぶ。

P.20「乾燥時間のめやす」

■ 押すごとに乾燥時間が変わります。

温風 15分 30分 60分 送風

5 スタート 一時停止 で運転を始める。→ ブザーが鳴ったら運転終了です。

※運転開始直後や給湯後すぐに排水することがありますが、異常ではありません。
P.33「こんなときは故障ではありません」
※「下かご洗浄」を行うと、洗浄中に「ザッザッザッ」という音がしますが、異常ではありません。
※選んだ乾燥コースにより、ブザーの鳴るタイミングが違います。P.22「運転終了ブザーについて」

運転する（つづき）

運転を開始したあとで

●ドアを開けるとき

スタート/一時停止 「スタート/一時停止」スイッチを押し、運転が完全に停止したら、ドアをゆっくり開けます。
運転を再開するときは、ドアを閉めて「スタート/一時停止」スイッチをもう一度押してください。

●運転をやめるとき

電源入/切 「電源」スイッチを押します。

●洗浄コースを変えるとき

電源入/切 「電源」スイッチを押し、始めからやり直す。
※洗剤は再度入れてください。

●最終すすぎ温度を変えるとき

高温念入り 「高温念入り」スイッチを押します。
※最終すすぎ行程まで進んだ場合は、変えることができません。

●乾燥コースを変えるとき

乾燥選択 「乾燥選択」スイッチを押します。
※洗浄運転では乾燥行程開始後、乾燥のみでは運転開始後15分以上過ぎた場合は変更できません。

●停電またはブレーカーが作動したとき P.31「凍結・断水・停電・ブレーカー作動の場合」

運転終了ブザーについて

◎運転終了ブザーの鳴るタイミング

洗浄コース	乾燥コース	洗浄終了後	乾燥終了後
標準 洗剤なし	温風15/30/60分	――――	ピーピーピー（自動的に電源が切れます）
	送風（90分）	ピーピーピー（以後、余熱乾燥ができます）	自動的に電源が切れます
8分	温風15/30/60分	ピーピーピー	ピーピーピー（自動的に電源が切れます）
	送風（90分）	ピーピーピー	自動的に電源が切れます

◎運転終了ブザーの入／切

運転終了後のブザーが耳障りな場合は、運転終了後のブザーが鳴らないように設定することができます。
（スイッチ操作音、異常または故障時のブザーは鳴ります。）

■運転終了後のブザーが鳴らないように設定するには

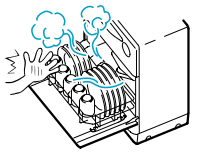
電源スイッチを切り 乾燥選択 を「ピッ」と音が鳴るまで（約3秒間）押しつづける。

（運転終了後のブザーが鳴るように設定するには、もう一度乾燥選択を「ピピッ」と音が鳴るまで（約3秒間）押し続けるか、一度電源プラグをコンセントから抜いて、10秒以上経過後に再び差し込んでください。
停電したりブレーカーが作動した場合も、運転終了後のブザーが鳴るように設定されます。）

後かたづけ

⚠警告

食器の取出し、残菜フィルターの掃除・お手入れは、運転終了後30分以上経過してから行ってください。



やけどをするおそれがあります。

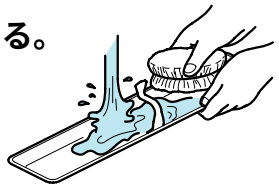
1 食器を取出す。

食器を入れたときと逆の順序で取出してください。
何枚か同時に取出すと、食器どうしがあたって破損するおそれがあります。

※ かごを引き出すときは、ゆっくり引き出してください。
勢いよく引き出すと食器が落下することがあります。

2 残菜を捨て残菜フィルターを水洗いする。

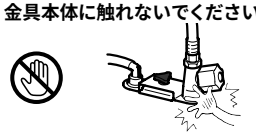
※本体内部に固形物がある場合は、取り除いてください。



3 残菜フィルターを元どおりにセットする。

⚠注意

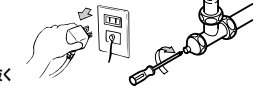
お湯を使用中、又は使用後すぐに給湯金具本体に触れないでください。



やけどをするおそれがあります。

⚠注意

長期間ご使用にならないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜き、給湯金具又は止水栓を閉じてください。



電源プラグを抜く

万一の場合に、思わぬ事故を防ぐことができます。

**運転終了後は、給湯機の温度設定を
ふだんお使いの温度に設定しなおしてください。**

運転時間とコスト

運転時間とコストは、ある条件のもとで運転した場合（P.25参照）の目安です。
運転条件によって、運転時間とコストは変わります。

◎給湯接続のとき（給湯温度60℃）

■：温水ヒーターON　■：温水ヒーターOFF

洗浄コース		洗い		すすぎ			最終すすぎ	洗浄時間	コスト
		低温洗い	高温洗い	すすぎ1	すすぎ2	すすぎ3			
上下かご洗浄	8分	約4分30秒	–	約1分30秒	–	–	約2分	約8分	約14円
	洗剤なし	約5分	約4分	約1分30秒	–	–	約4分30秒	約15分	約15円
	標準	–	約7分	約1分30秒	約1分30秒	–	約5分	約15分	約21円
	8分＋風呂水	約4分30秒	–	約1分30秒	–	–	約15分	約21分	約21円
	洗剤なし＋風呂水	約5分	約4分	約1分30秒	–	–	約16分30秒	約27分	約20円
	標準＋風呂水	–	約15分30秒	約2分	約2分	約2分	約15分30秒	約37分	約31円
下かご洗浄	8分	約6分30秒	–	約1分30秒	–	–	約4分	約12分	約10円
	洗剤なし	約6分30秒	約5分	約1分30秒	–	–	約6分	約19分	約11円
	標準	–	約9分	約1分30秒	約1分30秒	–	約7分30秒	約19分30秒	約15円
	8分＋風呂水	約6分30秒	–	約1分30秒	–	–	約17分	約25分	約15円
	洗剤なし＋風呂水	約6分30秒	約5分	約1分30秒	–	–	約18分	約31分	約16円
	標準＋風呂水	–	約17分30秒	約2分	約2分	約2分	約17分30秒	約41分	約23円

◎給水接続のとき（給水温度20℃）

■：温水ヒーターON　■：温水ヒーターOFF

洗浄コース		洗い		すすぎ			最終すすぎ	洗浄時間	コスト
		低温洗い	高温洗い	すすぎ1	すすぎ2	すすぎ3			
上下かご洗浄	8分	洗浄槽内の温水ヒーター加熱を行わないため、洗浄時間は給湯接続の場合と同じです。給水接続の場合、汚れ落ちが悪くなりますので、食器の予洗いとしてお使いください。						約8分	約9円
	洗剤なし	約11分	約16分	約1分30秒	–	–	約19分	約47分30秒	約24円
	標準	–	約16分30秒	約1分30秒	約1分30秒	–	約19分	約38分30秒	約25円
	8分＋風呂水	約4分30秒	–	約1分30秒	–	–	約30分	約36分	約22円
	洗剤なし＋風呂水	約11分	約16分	約1分30秒	–	–	約30分	約58分30秒	約29円
	標準＋風呂水	–	約20分	約2分	約2分	約2分	約30分	約56分	約33円
下かご洗浄	8分	洗浄槽内の温水ヒーター加熱を行わないため、洗浄時間は給湯接続の場合と同じです。給水接続の場合、汚れ落ちが悪くなりますので、食器の予洗いとしてお使いください。						約12分	約6円
	洗剤なし	約9分30秒	約13分30秒	約1分30秒	–	–	約16分	約40分30秒	約19分
	標準	–	約14分	約1分30秒	約1分30秒	–	約16分	約33分	約18分
	8分＋風呂水	約6分30秒	–	約1分30秒	–	–	約25分	約33分	約17分
	洗剤なし＋風呂水	約9分30秒	約13分30秒	約1分30秒	–	–	約25分	約49分30秒	約23円
	標準＋風呂水	–	約18分	約2分	約2分	約2分	約25分	約49分	約25円

◎乾燥時間とコスト

■：温風ヒーターON　■：温風ヒーターOFF

乾燥コース	乾燥時間		コスト
温風15分	約15分	約15分	約1.8円
温風30分	約30分	約30分	約3.5円
温風60分	約60分	約60分	約6.9円
送風	約90分	約90分	約0.3円
余熱乾燥		–	約0.0円

※洗浄時間は、給湯（給水）圧0.2MPa、室温20℃、水温20℃の場合の所要時間です。
水圧、室温、水温によって変わります。
給湯(給水)および排水の時間を含んでいます。
配管滞留水の排水時間は含みません。

※洗浄コストおよび乾燥コストは、電気代23円/kWh、水道代264円/m³（下水道使用料含む）、ガス代124円/m³、洗剤代1.23円/g（1箱800g入 ： 980円を使用）で算出したものです。

※下かご洗浄では少ない水量で洗浄力を落とさずに洗浄するため、上下かご洗浄よりも洗浄時間が長くなります。
（ただし、給水接続の場合は、洗浄水を沸かし上げる時間が短縮されるため、上下かご洗浄よりも洗浄時間が短くなることもあります。）

※給水接続の場合、洗浄時間が長くなります。
（ただし、8分コースでは洗浄槽内の温水ヒータ加熱を行わないため、洗浄時間は変わりません。）

■給水接続でお使いになる場合は、配管滞留水の排水をなくすように設定してください。
P.33「配管滞留水の排水をなくすには」

お手入れ －月に１度はお手入れを－

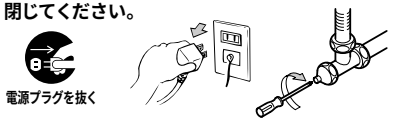
⚠ 警告

お手入れのときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

感電やケガをするおそれがあります。

⚠ 注意

長期間ご使用にならないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜き、給湯金具又は止水栓を閉じてください。

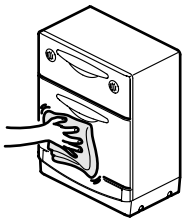


万一の場合に、思わぬ事故を防ぐことができます。

※ 長期間ご使用にならないときは、食器を入れずに空運転（標準＋温風15分）を行ってください。
また長期使用しなかったあと、運転を行う前には、いったん食器を入れずに空運転を行ってからご使用になることをおすすめします。

◎本体表面のお手入れ

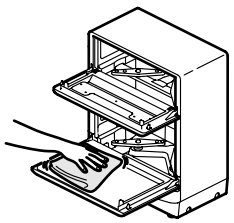
■ ぬらした布をよく絞って拭いてください。
■ ベンジン、シンナー、クレンザー、アルコール、ワックス、換気扇レンジ用洗剤や金属タワシなど、本体表面の変色、キズの原因になるものは使用しないでください。
■ 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書にしたがってください。



◎洗浄槽内やドアの内面のお手入れ

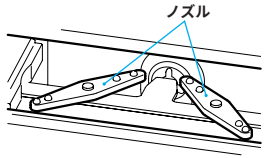
■ ぬらした布をよく絞って拭いてください。
■ ときどき食器を入れずに空運転を行うと、清潔さを保つことができます。
※ 洗浄槽内やドアの内面のお手入れには、台所用洗剤は使用しないでください。（洗剤が残ると泡の異常発生の原因になります。）

「洗剤なしコース」を連続でお使いになる場合、専用洗剤を入れたときと比べて、洗浄槽内に水中のミネラル分などが残りやすくなります。
こまめに洗浄槽内のお手入れを行ってください。



◎ノズルのお手入れ

■ ノズルの穴に異物がつまった場合は、つまようじなど先のとがった物で異物をきれいに取り除いてください。
■ お手入れ後はノズルを手で回して、軽く回ることを確認してください。
※ ノズルは外さないでください。

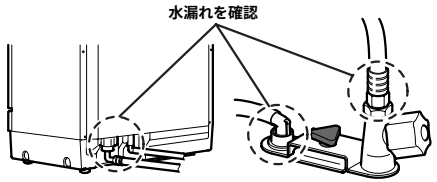


⚠ 注意

（EUD310HSの場合）

定期的に、給湯ホースや排水ホースの接続部、給湯・排水金具の周りを見て水漏れがないか確認してください。

部品の劣化・磨耗などによる漏水が発見できず、家財などを濡らすおそれがあります。

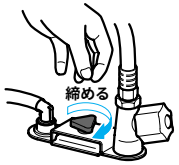


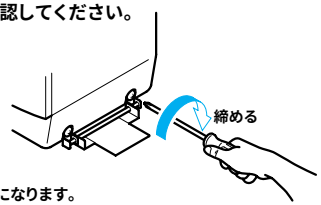
⚠ 注意

（EUD310HSの場合）

定期的に固定金具がゆるんだり、外れたりしていないか確認してください。
ゆるんでいる場合は、増し締めしてください。

転倒防止



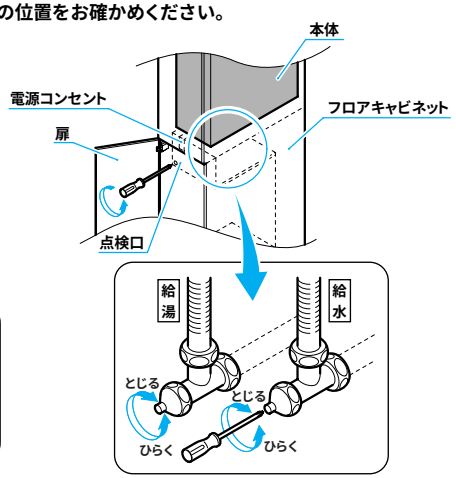


転倒した際、ケガややけどの原因になります。

◎ 止水栓と電源コンセントについて （EUD310HMのみ）

※ 万一の場合に備えて、初めてお使いになる前に一度点検口の位置をお確かめください。

■ 止水栓の開閉や電源プラグの抜き差しを行う際には、フロアキャビネットの扉を開け、点検口下部の木ねじ（2本）を外して、点検口を外してください。



⚠ 注意

使用中又は使用後すぐに給湯側止水栓に触れないでください。

やけどをするおそれがあります。

本体の設置（EUD310HSのみ）

◎ 設置場所について

⚠ 注意

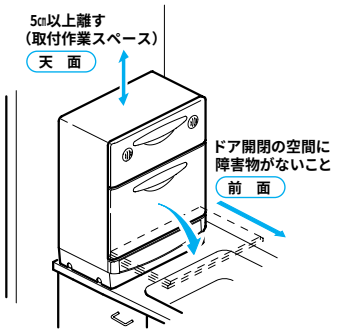
しっかりとした平らな面に正しい方法で設置してください。

傾いた場所では、正しく動作しないことがあります。

⚠ 注意

流し台天面より低い場所に設置しないでください。

排水が洗浄槽内へ逆流するおそれがあります。



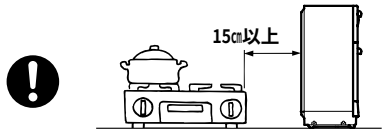
本体の設置（EUD310HSのみ）

◎ 設置場所について（つづき）

■ 給排水への接続や使い勝手を考慮すると、流し台の近くでお使いいただくのが便利です。
■ 凍結のおそれのある場所（0℃以下）や直射日光のあたる場所への設置は避けてください。

※ 本体の金属部分が、家屋の金属板、流し台のステンレス天板などと、電気的に接触しないようにしてください。
（電気設備技術基準182条により義務づけられています。）

⚠ 警告

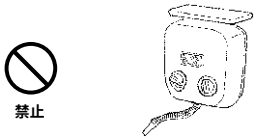


◎給湯機の確認

■ 10号以上の先止め式給湯機や深夜電力利用温水器に接続してください。
■ 温度設定ができない高温給湯タイプの給湯機（70℃以上）をご使用の場合には「高温給湯対応分岐金具」を取付けるか、給水接続でご使用ください。
■ 水道水圧は0.05～0.74MPaの範囲で使用してください。

⚠ 注意

元止め式湯沸器には接続しないでください。



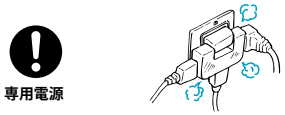
本体に給湯されなかったり、湯沸器から水漏れするおそれがあります。

◎電源の確認

■ 交流100V、15A以上のコンセントを専用でご使用ください。
■ 電気工事は専門業者に依頼し、電気設備基準に準じて行ってください。
■ コンセントに電源プラグを差し込んだとき、グラグラしていると、電源プラグが過熱して危険です。
このようなときは使用を中止し、電気工事店にご相談ください。
■ 電源コードを無理に引張ったり、たばねたり、また重い物を載せたり、はさみ込んだりしないでください。

⚠ 警告

使用するコンセントは定格15A以上のコンセント（専用）を単独で使用してください。
（※タコ足配線は絶対にしないでください。）

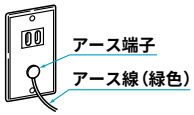


他の器具と併用すると、分岐コンセント部が異常発熱して発火するおそれがあります。

◎アース線の接続

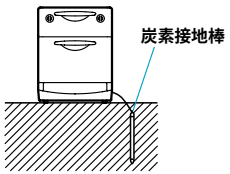
万一の感電事故を防ぐため、必ずアース線を正しく取付けてください。

コンセントにアース端子がある場合



コンセントにアース端子がない場合

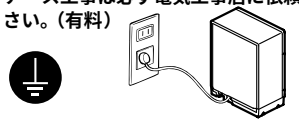
■ 炭素接地棒によるアース工事をしてください。
（オプション ： EUDP006）



■ アース工事は電気工事士の有資格者がD種接地工事（有料）をするよう法令で定められています。
■ 設置場所を変更された場合やご転居の際には、再度アースの取付けをしてください。
■ ご不明な点は、電気工事店にご相談ください。
■ アース線は本体から出ている緑色の電線です。
■ 次の場所にはアース線を絶対に接続しないでください。
■ ●ガス管　●水道管　●避雷針のアース　●電話線

⚠ 警告

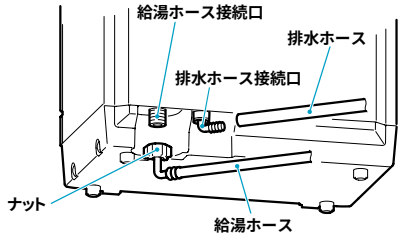
● アースを確実に取付けてください。
● アース工事は必ず電気工事店に依頼してください。（有料）



故障や漏電のときに感電するおそれがあります。

◎ 本体と給湯ホース・排水ホースの接続

■ 排水ホース接続口の根元を回して排水ホースの取出方向を決め、排水ホースを排水ホース接続口にしっかり押し込んでください。
■ 給湯ホースの取出方向を決め、その状態を維持したまま確実にナットを締め付けてください。



⚠ 注意

排水ホース接続口の向きを変えるときは、本体から抜けないように注意してください。
水漏れの原因になります。

⚠ 注意

排水ホースは排水ホース接続口の山がかくれるまでしっかり押し込んでください。
水漏れの原因になります。

⚠ 注意

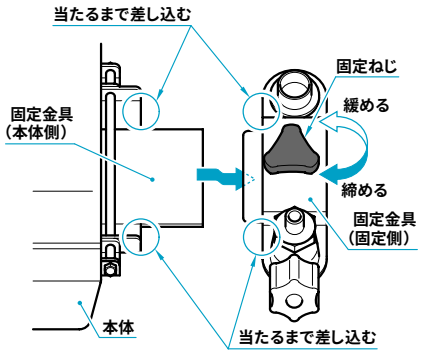
ナットはしっかり締めつけてください。
水漏れの原因になります。

⚠ 注意

ナット締めつけ後に、給湯ホースの方向を変えないでください。
ナットが緩み水漏れの原因になります。

◎ 本体の固定

■ 固定金具（固定側）の固定ねじを、あらかじめ反時計方向いっぱいに回して、緩めておいてください。
■ 固定金具（固定側）と設置面との間に固定金具（本体側）を差し込みます。
このとき、固定金具どうしが当たって止まるまで差し込んでください。
■ 固定金具（固定側）の固定ねじを、時計方向いっぱいに回して、しっかりと締め付けてください。
固定ねじを締め付けたら、本体をかるくゆすって、しっかりと固定されていることを確認してください。



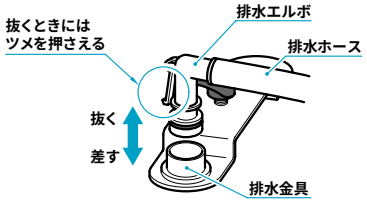
お手入れなど

本体の設置 （EUD310HSのみ）

◎給湯・排水ホースの接続

■排水ホースの接続

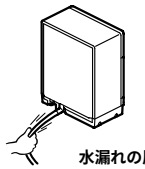
排水ホース先端の排水エルボのツメが、排水金具にかくれるまで差し込んでください。
（0リングを水などで湿らせておくと差し込みやすくなります。）



⚠ 注意

排水ホースは無理に引張らないでください。

禁止



水漏れの原因になります。

⚠ 注意

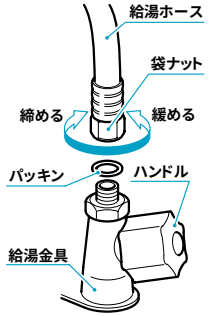
排水金具には、排水トラップを内蔵しない食器洗い乾燥機を接続しないでください。

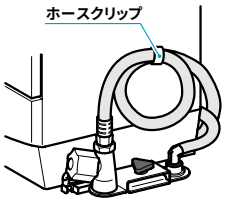
禁止

臭気や虫が侵入するおそれがあります。

■給湯ホースの接続

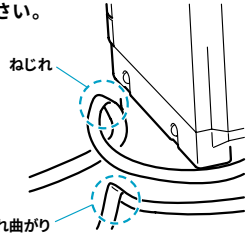
給湯ホース先端の袋ナットの内側に同梱のパッキンを取付け、しっかり締め付けてください。
締め付けたあと、ハンドルを開いて水漏れの無いことを確認してください。





※ 給湯ホースがあまる場合は、ホースを一回転させて付属のホースクリップでたばねてください。

●給湯・排水ホースは、ねじれや折れ曲がりがないようにしてください。

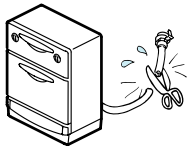


（給湯・排水不良や残水増加の原因になります。）

⚠ 注意

給湯ホースは切らないでください。

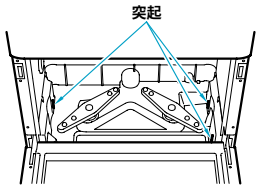
禁止



水漏れの原因になります。

◎水平の確認

■ 試運転を行い、洗浄行程が始まったら電源を切り、下ドアを開いてください。
■ 洗浄槽下部の「突起」の高さと水面が3ヵ所でほぼ一致することを確認してください。（洗浄槽内の水は次回の運転時に、自動的に排水します。）

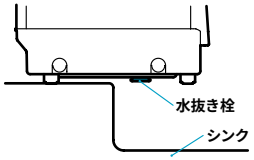


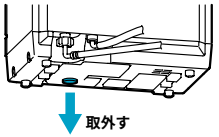
水抜きについて （EUD310HSのみ）

お引越しなどで本体を移動するときや、寒冷地の別荘などで冬季ご使用にならないときは、本体の水抜きが必要です。

- 給湯金具のハンドルを閉じ、給湯ホース・排水ホースを取り外してください。
- 固定ねじを緩め、本体を取り外してください。
- 本体裏面の水抜き栓がシンク（流し台）の上にくるまで、本体を移動してください。
- 本体裏面の水抜き栓を取り外して水を抜いてください。
- 水の出が悪くなったら、本体を前後左右に軽く傾けて残水を抜いてください。
- 本体裏面の水抜き穴に水抜き栓を根元までしっかりと入れてください。

■ご自分で水抜きができない場合は、東陶メンテナンス(株)にご相談ください。
巻末参照

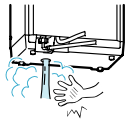




⚠ 注意

運転終了後30分間は絶対に水抜きをしないでください。

禁止



やけどをするおそれがあります。

⚠ 注意

水抜き栓は根元までしっかり入れてください。

水漏れの原因になります。

凍結・断水・停電・ブレーカー作動の場合

状　況	処　置
凍　結	1 電源を切りドアを開けて洗浄槽に70℃程度の温水を約3L入れ、解凍するまで放置してください。 2 解凍後電源を入れ標準コースで運転ができることを確認してください。
断　水	1 使用中に断水した場合は、電源を切り運転を中止してください。 2 断水が回復したら、まず蛇口からにごった水を流し、はじめから操作をやり直してください。（洗剤は再度入れてください。）
停電 ブレーカー作動	■洗浄中に停電またはブレーカーが作動した場合 1 電力が回復したら、電源スイッチを「ピッ」という音が鳴るまで（約3秒間）押し続けてください。（標準コースのランプが点滅し、洗浄槽内に溜まっている湯を使って運転を再開できる状態になります。） 2 直前に運転していた洗浄コースのスイッチを何度か押して、停電・ブレーカー作動前の行程を選んでください。スイッチを押すごとに行程表示ランプが切替わります。「洗い」→「すすぎ」→「最終すすぎ」 3 スタート/一時停止スイッチを押して運転を再開してください。 ■乾燥中に停電またはブレーカーが作動した場合 電力が回復したら、「乾燥のみ」で運転してください。 ■停電またはブレーカー作動前の行程がわからない場合 電力が回復したら、はじめから操作をやり直してください。（洗剤は再度入れてください。）

仕上がりが悪いと思われる場合

状　況	原　因	処　置
洗い上がりが悪い 洗えていないものがある	●食器を重ねて入れたり、セットの方向を間違えている。 ●食器がかごの底からはみ出してノズルの回転を止めている。	●食器を正しくセットする。 P.11参照
	●上かごに食器をセットして、下かごのみ洗浄をしている。	●上下かご洗浄を選ぶ。 P.19参照
	●残菜フィルターに残菜などが詰まっている。	●残菜フィルターを水洗いする。 P.23参照
食器が黄色く、 または薄黒くなってくる	●水に含まれている鉄分や茶しぶなどのためです。	●ときどき食器をこすって手洗いする。
ガラス食器類が白くくもる ガラス食器類に薄い水滴の跡が残る	●表面に小さな傷のついたガラス食器類を高温の洗浄水で洗うと、白くくもることがあります。	
	●水の温度が上がると、水に含まれているミネラル分が食器等に残り易くなります。 食器洗い乾燥機では高温のお湯で食器を洗うため、ミネラル分が水滴の跡のように残ったり、食器の表面が白くくもったようになることがあります。ガラス食器のような透明な食器の場合、他の食器と比較してミネラル分の付着が目立ちます。洗剤の残りなどの異常ではありません。	●「最終すすぎ」開始後30秒以内に乾燥仕上げ剤を入れる。 P.33参照
糸底部に残水がある	●食器のセットのしかたや形状によっては、運転終了後に食器の糸底部に水が若干残ることがあります。 異常ではありません。	●ふきんなどで残水をふき取る。
洗浄槽内に水滴が残る	●洗浄槽内の結露現象と、すすぎ時に付着した水滴です。異常ではありません。	●しばらくお使いになる間に水滴は少なくなります。
食器に水滴が残る	●乾燥時間が短い。	●乾燥時間を長くする。P.21参照
	●かごを引き出すときに、洗浄槽内の水滴が食器にたれている。	●かごを静かに引き出す。

運転しないとき

状　況	原　因	処　置
運転しない	●停電している。	●P.31「停電」参照
	●ブレーカーが作動している。	●P.31「ブレーカー作動」参照
	●コンセントから電源プラグが外れている。	●電源プラグをコンセントに差し込む。
	●上ドア又は下ドアが開いている。 （「ピピピ」という警報音が鳴ります。）	●上ドア、下ドアを確実に閉める。
	●「一時停止」の状態になっている。	●スタート/一時停止スイッチを押す。

■上記の処置を行っても直らない場合、分岐金具の止水栓レバーを閉じて、電源プラグを抜き、お求めの販売店もしくは東陶メンテナンス㈱へご連絡ください。 巻末参照

こんなときは故障ではありません

状　況	原　因
運転が始まるとすぐに排水をはじめる。	●洗浄槽内に残った水を排水するためです。異常ではありません。 以下の場合に行われます。 ・「乾燥のみ」運転開始時に排水するように設定したとき P.20参照 ・異常検出や電源「切」による中断後、再び運転するとき ・電源プラグを抜き差しした後、再び運転するとき
洗浄がはじまると 給湯後すぐに排水する	●給湯されたお湯の温度が低い場合、お湯を排水します。 下記「配管滞留水の排水について」参照
洗浄中にときどき運転が止まる（約1秒間）	●効率よく食器を洗浄するためです。故障ではありません。
洗浄時間が長い	●給湯温度が低くありませんか？　給湯温度を60℃に設定してください。 ●配管滞留水の排水をなくしている。 ●給水接続にしている。 下記「配管滞留水の排水について」参照
乾燥時間を変更できない	●洗浄からの運転で乾燥行程がはじまっている。 ●乾燥のみコースで15分以上運転している。 P.22参照
「下かご洗浄」を選べない	●「乾燥のみ」を選択していませんか？　「乾燥のみ」を選択した場合、「下かご洗浄」は選べません。
「上かご洗浄」を選べない	●「上かご洗浄」は選べません。 P.15「上下かごの使いわけ」参照

◎配管滞留水（はいかんたいりゅうすい）の排水について

配管滞留水とは、長時間お湯を使わなかったために冷えた配管内に溜まっている水のことです。
最初から最適な温度で洗浄を行うため、給湯されたお湯が35℃以下の場合、お湯を排水するように設定しています。
（ただし、運転開始から2分以上経過しても洗浄槽内の水温が35℃をこえない場合は洗浄を始めます。）

●給水接続でお使いになる場合は、配管滞留水の排水をなくすように設定してください。

■配管滞留水の排水をなくすには

電源スイッチを切り、スタート/一時停止スイッチを「ピッ」と音が鳴るまで（約3秒間）押し続けてください。

（配管滞留水の排水をするように設定するには、もう一度スタート/一時停止スイッチを「ピピッ」と音が鳴るまで（約3秒間）押し続けるか、一度電源プラグをコンセントから抜いて、10秒以上経過後に再び差込んでください。
（停電したりブレーカーが作動した場合も配管滞留水の排水をするように設定されます。））

◎乾燥仕上げ剤のご使用について

ガラス食器などに薄い水滴の跡が残る場合は、市販の食器洗い乾燥機専用乾燥仕上げ剤のご使用をおすすめします。

「最終すすぎ」開始後30秒以内に、乾燥仕上げ剤を洗剤投入口へ入れてください。
乾燥仕上げ剤を入れる時期を「ピッピッピッ…」という音（約30秒）でお知らせするように設定することもできます。

※乾燥仕上げ剤を入れる際は、「運転を開始したあとでドアを開けるとき」の手順にしたがってください。 P.22参照

■乾燥仕上げ剤を入れる時期を知らせるようにするには

電源スイッチを切り、高温念入りスイッチを「ピッ」と音が鳴るまで（約3秒間）

（乾燥仕上げ剤を入れる時期を知らせないように設定するには、もう一度高温念入りスイッチを「ピピッ」と音が鳴るまで（約3秒間）押し続けるか、一度電源プラグをコンセントから抜いて、10秒以上経過後に再び差し込んでください。
（停電したりブレーカーが作動した場合も乾燥仕上げ剤を入れる時期を知らせないように設定されます。））

食器洗い乾燥機専用
乾燥仕上げ剤

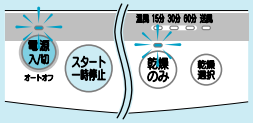
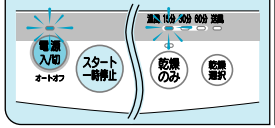
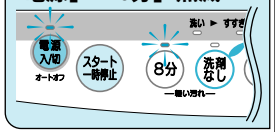
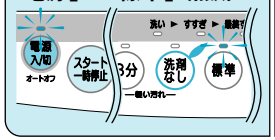
ティーポール㈱製
リンセード（RA-10）

問合せ先：ティーポール㈱
03−5352−7871（代表）

故障かな？と思ったら

異常報知について

警報音（ピー）が10秒間鳴ります。

状　況	原　因	処　置
「電源」＋「洗剤なし」点滅 	●排水不良 排水ホースの折れや異物のつまりによって、洗浄槽内の水を全く排水できないことを示しています。	以下のことを確認してください。 ●残菜フィルターが目詰まりしていないか　P.23参照 ●残菜フィルターを入れ忘れていないか ●排水ホースが折れ曲がっていないか ●外装板に磁石を張り付けていないか　P.7参照
「電源」＋「乾燥のみ」点滅 	●給水不良 断水、水道の凍結、水道元栓又は分岐金具の止水栓の開け忘れなどで給水できないことを示しています。	以下のことを確認してください。 ●断水していないか ●水道、給湯ホースが凍結していないか ●止水栓が開いているか ●止水栓のフィルターが目詰まりしていないか
「電源」＋「温風15分」点滅 	●高温給湯 給湯機の温度設定が高すぎる場合や高温給湯対応分岐金具の故障により、給湯温度が高すぎることを示しています。	●給湯機の温度設定を60℃に設定してください。
「電源」＋「8分」点滅 	●その他の異常 極端な低温下にあるか温度検知機能の故障であることを示しています。	●本体周囲の温度が0℃以上の場所でご使用ください。
「電源」＋「標準」点滅 		

※上記の処置を行ったあと、一度電源を切り運転をやり直してください。再び異常報知を行う場合、又は上記以外の異常報知を行う場合は、止水栓を閉じて、電源プラグを抜き、お求めの販売店もしくは東陶メンテナンス(株)へご連絡くださ
巻末参照（どのランプが点滅したか確認のうえ、ご連絡ください。）

※上記以外の異常報知 ：「高温念入り」＋「その他のランプ」点滅

アフターサービスについて

保証について

本製品は、設置日から1ヵ年保証です。本製品に保証書を同梱しています。必ず「お買上げの販売店名又はお取付け工事店・設置日」などの記入をお確かめになり、保証書内容をよくお読みのうえ、大切に保存してください。

保証期間中に修理を依頼されるとき

もう一度取扱説明書をよくお読みいただき、ご確認ください。なお、異常のあるときには、お買上げの販売店・お取付け工事店又は東陶メンテナンス（株）フリーダイヤル0120-1010-05に修理を依頼してください。保証書の記載内容により修理いたします。

〈連絡していただきたいこと〉 ■ご住所・お名前・電話番号　■製品名・品番・設置日（保証書をご覧ください）　■故障内容・異常状況　■訪問ご希望日

保証期間経過後、修理を依頼されるとき

当社お客様相談室又は東陶メンテナンス(株)にまずご相談ください。
修理により製品の機能が維持できる場合には、ご要望により有料で修理いたします。

本製品の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切後6年です。

なお、補修用性能部品とは、製品の機能を維持するための部品です。

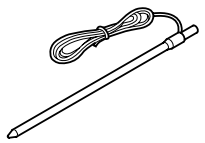
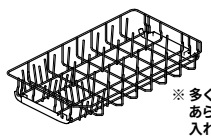
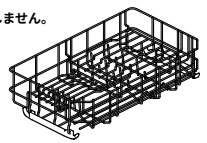
お願い

■取付け、取外しのときは東陶メンテナンス(株)にご相談ください。 巻末参照
■電源周波数の異なる地域へ引越しされても、50Hz/60Hz共用ですので部品の取替えは不要です。

仕様

電圧電源	交流100V	すすぎ方式	ためすすぎ方式
周波数	50/60Hz共用	乾燥方式	①送風乾燥（余熱乾燥）　②温風乾燥
最大消費電力	1190W（50Hz）／1220W（60Hz）	標準食器	6人用　40点収納
外形寸法	幅500㎜ × 奥行き300㎜ × 高さ645㎜	収納容量	大皿……6点　はし 中皿……6点　スプーン 小皿…… 10点　フォーク 茶わん……6点 吸物わん……6点 湯のみ・コップ……6点
製品質量	約18kg		
使用水量	約14L（標準コース）		
水道水圧	0.05～0.74MPa		
洗浄方式	回転ノズル噴射式 ＋ 固定ノズル噴射式		

オプション　－お求めの販売店にて取扱っています－

炭素接地棒	EUD310用　上かご	EUD310用　下かご
（¥1,000）　EUDP006	（¥3,800）　EUDP216	（¥3,800）　EUDP217
	 ※多くの食器を繰り返し洗う場合等に、あらかじめ食器をセットして、かごの入れ替えができ便利です。	小物入れは付属しません。 

※オプションは予告なしに変更となることがありますので、お求めの際は販売店にご確認ください。
※価格はすべて希望小売価格です。